

バーモント州学校継続的改善計画

LEAによる計画承認: ラモイル・ノース

学校名: ケンブリッジ小学校

ESEAおよび州の資格(すべて該当するものを確認してください):

☒ タイトル1 全校プログラム

☐ 包括的なサポートと改善

☐ ターゲットまたは追加のターゲット支援および改善(エクイティ2または3)

学校継続的改善計画 連絡先名: キム・レスニー

学校継続的改善計画 連絡先メール: klesny@lnsd.org

保証

☒ 包括的ニーズ評価(包括的ニーズ評価)は、生徒の学習、人口統計、学校プロセス、認識データを含む包括的なデータ分析および因果分析を学校レベルで実施しており、その結果は本学校継続的改善計画に含まれる目標や変革のアイデアに反映されています。包括的ニーズ評価ツールキットやデータプロファイル:分析プロトコル文書などのリソースは、現在の資産や課題の定義に役立ちます。



X A データインベントリ CNAの結果の実証は完了し、このCIPの提出とともにアップロードされました。このデータインベントリには、学生の識字能力レベルが含まれ、地域の評価システムで使用する普遍的なスクリーニングツールを明示しなければなりません(法令第139条により)。

 X この計画は学校のウェブサイトおよび印刷物(ご希望の場合)を通じて学校コミュニティに提供されます。言語翻訳やその他の配慮が必要な場合は、[こちらに入力してください]までご連絡ください。 _____

 X この計画は教育委員会によって承認されました。

 X この計画はLEAの教育長または指定者によって承認されました。

 もしあなたのLEAが現在AOEと正式なリソース配分レビュー(RAR)を受けている場合は、LEAのリーダーシップがLEAのRAR改善目標と戦略のコピーを添付またはアップロードすることを確認してください。

 この計画は、他の連邦、州、地方のサービス、資源、プログラムと連携して作成されています。ここに入力してください。] _____

 この計画は[ここに「学年」を入力してください。] _____ 26-27 _____

 この計画は監視されます【頻度を週ごと、月ごと、四半期ごと入力してください】 _____ 月刊 _____
学校によって更新されます【頻度を週ごと、月ごと、四半期ごと入力してください】
_____ 月刊 _____ 計画が学生のニーズに基づいており、すべての学生が州の厳しい学術基準を満たすための
公平なアクセスを提供していることを保証すること。AOEはこれらの監視慣行の文書化をいつでも要求できる。

セクション1:協力的なステークホルダーの意見 - すべての学校がこのセクションを完成させます

協力関係者が代表: キム・レスニー、CESリーダーシップチーム(学年や学科の教師、そしてCESの保護者で構成されています)

第2節:目標、改善の指標、エビデンスに基づく変革のアイデア

すべての学校がこのセクションを修了します。

ゴールナンバー	学校優先目標(すべての生徒の学業・安全・健康的な学校目標、 TSI/ATSI で特定された場合の対象サブグループを含む)	アウトカム指標(目標に直接関連)	優先順位付けされたエビデンスに基づく戦略/変革アイデア、エビデンスレベルおよび研究資料の引用	実施を支援するために必要な財政、人的、その他の資源(または投資)
---------	---	------------------	--	----------------------------------

1. 識字率	2027年6月までに、K-2年生の生徒の80%が、データに基づく教師による教師の問い合わせやMTSS介入に焦点を当てた協働チームミーティングの導入により、Fastbridge早期読書評価で冬から春の個々の成長目標を達成または上回るようになります。	以下の評価から収集された学術データを活用します。 プリスクールにおけるティーチングストラテジーのゴールド 地図 ファストブリッジ コグニアデータ ARCデータ	最近のデータ、特に秋から冬までのK-1年生向けFastbridge早期読書評価や、VTCAPにおける非FRL生徒(48%)とFRL(38%)の習熟度ギャップに対応し、私たちは多層支援システム(MTSS)の中核として、指導改善を促進するための協力的なチームミーティングシステムを導入しています。このシステムは、教師主導のチームがMTSSフレームワーク内でエビデンスに基づく読解および明示的なライティングプログラムの体系的な実施を支援する主要な場となっています。これらの会議では、コア指導、介入、特別支援教育における部門横断データ分析のための専用時間を確保します。スタッフは生徒のデータに応じて、差別化されたTier 1およびTier 2の指導を実施します。私たちの焦点は引き続き、音素認識、フォニックススキル、流暢さ、語彙、理解、作文に関する明示的かつ体系的な指導を含む、エビデンスに基づくりテラシー教育の方法に注力しています。	タイトル1、タイトルIIA、ローカル
---------------	--	---	--	---------------------------

2. 数学	2027年春のVTCAP実施までに、IEPを持つ生徒の数学習熟率は15%向上し、FRLサブグループの習熟率は、対象を絞った小グループ指導およびデジタル差別化プラットフォームでの教職員研修を通じて10%向上します。	以下の評価から収集された学術データを活用します。 プリスクールにおけるティーチングストラテジーのゴールド 地図 ファストブリッジ 橋のデータを前面に据えています コグニアデータ	Fastbridgeのデータによると、すべての学年で数学の大幅な成長が示されていますが、VTCAPの結果はギャップを示しており、非IEP生徒の60%が習熟しているのに対し、IEP有学生は0%です。これに対処するために、いくつかの重要な戦略を実施します。学校のスケジュール内に協働チームミーティングのシステムを設け、「データ駆動型構造」として学習の損失に対処し、指導の移行を最適化します。これらの協働チームミーティングを活用して学年を超えた協力を促進し、診断に関係なくすべての生徒に対応できる研究に基づくMTSSモデルを支援します。これらの取り組みは、操作的学習、概念的理解、明示的な指導、そしてすべてのPreK-4教室でのBridges 3の採用を含む、エビデンスに基づく数学指導への継続的な注力を補完します。	タイトル1、タイトルIIA、ローカル

3. 社会的・感情的学習	2027年6月までに、ケンブリッジ小学校は早期警戒システム(EWS)と修復的実践の導入を通じて、慢性的な欠席率を10%削減し、学校気候調査における「帰属意識」の生徒報告スコアを15%向上させます。	教育戦略 GOLD(Prek 評価) 懲戒データ: いじめや嫌がらせの発生率の減少 無断欠席紹介の軽減 自己認識、学校への関与、雰囲気に関する質問を含む教職員と生徒のアンケート	1. 学区レベルのSEL調査データによると、歴史的に周縁化されたコミュニティの生徒は安全性や帰属意識に関して低いスコアを報告しています。これらの結果に対応し、行動および社会的ニーズに関するMTSSモデルを支援するために、以下の戦略を実施します。 ● 出勤、行動、学業成績を体系的に追跡し、即時介入のために早期警戒システム(EWS)を導入しましょう。 ● サポートスタッフやパラエデュケーターのための専門能力開発を組み込み、学校全体の行動・社会環境学習プログラムをより効果的に支援します。 ● ラモイル回復センターとのパートナーシップを継続・強化し、中退や欠席リスクの高い学生の家族を巻き込みます。 ● Up for Learningとのパートナーシップを維持し、学生の声とリーダーシップを育みましょう。 ● すべての学年でレスポンス教室の実践と修復的な実践を継続して実施し、安全で支援的かつ包摂的な学校コミュニティを作りましょう。	1. タイトル1、タイトルIIA、ローカル
---------------------	---	--	---	-------------------------------------

--	--	--	--	--

必要に応じて追加の行を追加してください。

第2条(a):読解能力に関する目標(法139実施)

幼稚園から3年生までのすべての学校がこのセクションを修了します。

ゴールナンバー	学校がAct 139に関連する優先目標(読解力の向上)	アウトカム指標(目標に直接関連)	地域および州のリテラシー評価(K-3)に合格した生徒数と割合	優先順位付けされたエビデンスに基づく戦略/変革アイデア、エビデンスレベルおよび研究資料の引用	実施を支援するために必要な財政、人的、その他の資源(または投資)
---------	-----------------------------	------------------	--------------------------------	--	----------------------------------

1.	2027年6月までに、K-2年生の生徒の80%が、データに基づく教師による教師の問い合わせやMTSS介入に焦点を当てた協働チームミーティングの導入により、Fastbridge早期読書評価で冬から春の個々の成長目標を達成または上回るようになります。	以下の評価から収集された学術データを活用します。 プリスクールにおけるティーチングストラテジーのゴールド 地図 ファストブリッジ コグニアデータ ARCデータ	2025年春 NWEAスコア - 単一達成パーセンタイル 50%以上 幼稚園:71% 1位:38% 2位:- 31% 3位 - 51%	優先戦略: 26/27学年度にはフォーカスARC Core(UFLI互換版)を選びました。 IRLAで小グループワークを続けてください。 AOEが承認したFASTBRIDGE/CBMの拡充PD(ACT 139に基づく新要件)です。 LNSU K-3識字計画	タイトル1、タイトルIIA、ローカル	

必要に応じて追加の行を追加してください。

セクション3: 包括的またはターゲット型支援が対象となる学校 このセクションを完了してください (CSI & TSI/ATSI/Equity 2および3)

実践の問題点と根本原因分析:フィッシュボーンまたは5つのなぜ図のコピーをアップロードしてください。

公平な資源配分:

● どの学生集団で不平等を特定しましたか? _____

● これらの不平等の根本原因は何でしょうか? _____

公平な資源配分目標	改善の指標	変更のアイデア
意図的に空白にしています	意図的に空白にしています	意図的に空白にしています

第4節:進捗モニタリング

すべての学校がこのセクションを修了します。

ゴール参照番号	対策	ベースラインデータ(初回提出)	学期中の進捗確認と次のステップ	年末結果と今後のステップ
1. リテラシーK-6	コグニア	2024年コグニア結果 基準に達している学生の割合 3位:55 4位:56 5:57 6位:59点 2025年コグニア結果 基準以上の%を達成 3位:42 4位:73 5位:51 6位:77点 2026年コグニア結果 基準以上の%を達成 3位:21 4位:73 5位:78 6位:56		結果: 目標は達成されましたか? 次のステップ:

ゴール参照番号	対策	ベースラインデータ(初回提出)	学期中の進捗確認と次のステップ	年末結果と今後のステップ
2. 数学	コグニア	2024年コグニア結果 基準に達している学生の割合 3位:32 4位:54 フィフス:51 6位:52点 2025年コグニア結果 基準以上に到達した生徒の割合 3位:34 4位:48 5人目:46 6位:74点 2026年コグニア結果 基準以上の%を達成 3位:10 4位:35 5位:38 6位:44点		結果: 目標は達成されましたか? 次のステップ:

必要に応じて追加の行を追加してください。